

昨年度に引き続き、林業の作業現場の体験勉強会を開催しました。
昨年度の勉強会では、福祉関係者の皆さんに林業の現場作業である植林を実際に体験していただき、作業工程を細かく分けることで障がいを持つ方でも作業ができそうとの講評をいただいたところです。

今年度は、障がいを持つ方や生活困窮者、福祉事業所や社会福祉協議会の職員など、多くの皆さんに植林を体験していただきましたので、その様子をご紹介します。

発行 令和3年9月7日
盛岡広域振興局林務部

植林体験会を開催しました

令和3年4月28日(水)、フォレスト百万石、ワークセンターむろおか、まめ工房緑の郷、生活介護事業所しょうの4施設から14名の利用者、矢巾町福祉課が支援している生活困窮者2名、県及び矢巾町社会福祉協議会など計40名が参加し、矢巾町煙山の三山神社に隣接した伐採跡地で植林体験会を行いました。

植林場所は、傾斜がほとんどない平らなところです。今回植えたカラマツの苗木は、根鉢の付いた「コンテナ苗」で、専用の植栽器を使用しました。

昨年度の植林体験会での意見を踏まえて、2人1組で作業を行うこととし、①植穴を空ける、②植穴に苗木を入れ、土をかぶせて踏み固める、の2種類の工程を、交代しながら体験しました。

場所によっては、土が硬くてなかなか穴が空かずに苦勞する様子も見られましたが、楽しく作業していただきました。

参加された皆さん、大変お疲れさまでした。

また、快く、場所の提供と作業の指導をお引き受けいただいた盛岡広域森林組合様、三浦造林様、御協力ありがとうございました。



参加者による植林作業の様子

植林作業体験者の感想

- は以下のとおりです。
- ・初めてだったので、次回はもっと上手に作業したい。
 - ・土が硬くて大変だったが、有意義な時間を過ごすことが出来た。
 - ・植林作業は初めて体験した。また呼んでほしい。

なお、今回参加していただいた施設へは、今後の勉強会のあり方や林業分野でのトライアル雇用(短期のお試し雇用)についてのアンケート調査にご協力いただいております。その内容については次号でご紹介します。

※林福イーハトーフ通信第7号(令和2年9月25日発行)で「コンテナ苗」を紹介しています。

【問合せ先】盛岡広域振興局林務部
電話: 019-629-6613 Fax: 019-629-6624

「いわての森林の恵みガイドブック」のご紹介

岩手県では、県内小学校の児童に、岩手県の森林の姿や森林のはたらきなどについて学んでもらい、森林の大切さを理解してもらうため、森林環境学習を支援するパンフレットを制作しました。

このガイドブックでは、森林のもつはたらきや、森林と人のかかわり、森林の仕事や木材の利用について、岩手県内の事例等を交えながら紹介しています。

ガイドブックの一部を紹介します。



日本の中でも森林が豊かな県、岩手県。

岩手県の森林面積の割合は、県全体の約80%です。日本の森林面積の割合は約70%なので、岩手県は森林が多い県、といえます。

森林には、人が植えて育てた「人工林」と、自然の力で育ってきた「天然林」があります。岩手県では海岸から平野、山地までいろいろな森林を見ることができます。



いわての森林の恵みガイドブックは、岩手県のホームページからダウンロードして印刷できますので、ぜひご活用ください。